学校を決める前に!

正しく知ろう 専門学校のこと

専門学校とは…

正確には専修学校と分類される学校の種類の一つで、職業もしくは実際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図ることを目的として（学校教育法124条）修業年限1年以上授業時数は年間800時間以上（夜間は450時間以上）等の基準を満たし、監督庁より認可を受けた学校のことをいいます。

01 専門学校と大学・短大との違い

技術を身につける!

目指す職業に必要な知識や技術を集中して身に付けます。

大学・短大は、学術・理論的な学問を学ぶと共に幅広い教養を身につける為の教育機関です。
それに対し専門学校は、**「社会に出る一歩手前の学校」**として目指す職業に就く事を目的とし専門性の高い「知識・技能」を身につける為に実践的な教育を行いまた、社会人として必要なコミュニケーション能力、主体性、協調性の向上を図り実社会で直ぐに活躍できる人材を育成しています。

学校選びの「新しい指標」として 職業実践専門課程に注目!

文部科学省は2014年度より「職業実践専門課程」という専門学校の新しい教育制度をスタートさせました。この制度には大きな特徴が2つあります。**1つは「企業との連携」**です。学校と企業が協力し合い、時代に合ったカリキュラムをつくり、教員の指導力向上に取り組むことを目標とし、より良い授業づくりに努めています。**もう1つの特徴は「見える化」**です。学校と企業による取り組みを、学校のホームページなどで誰でも確認することが出来るようになりました。授業の内容だけでなく、退学率や就職率など教育の成果の面も公開されています。

職業実践専門課程の特徴

「専門学校」と「企業など」が密接に連携する職業実践専門課程は、下記のような特徴があります。

目指す進路を明確にできる!

最新動向を踏まえたカリキュラムが学べる!

教育の質の保証向上に取り組んでいる!

教育課程
●企業・業界団体等と密接かつ組織的な連携体制を確保して、授業科目の開設等の教育課程を編成（改善・工夫を含む）

学校評価・情報公開
●学校の自己評価に加え、企業・業界団体等が委員として参画する学校関係者評価を実施・公表し、学校運営を改善
●教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を企業等の学校関係者へ提供

教員の資質向上
●教育に必要な実務上の知識、技術、技能やマネジメント能力など指導力の修得・向上を目的として、企業等と連携の下、組織的な研修機会を確保

演習・実習等
●企業・業界団体等と密接かつ組織的な連携体制を確保して、演習・実習等を実施

沖縄県内で職業実践専門課程として認定されている学校・学科 **52学科／19校**

そのうち **28学科／7校** がKBC学園グループの学校です!

※平成31年3月5日現在

専修学校には3つの課程があります

1. 専門課程（高卒者対象）…… 専門学校と称することが出来ます
2. 高等課程（中卒者対象）…… 高等専修学校と称することが出来ます
3. 一般課程（学歴不問）…… 専修学校と称することが出来ます

＊一般的に高校卒業後に進学する「専門学校」と呼ばれている学校は、
上の1の学校にあたる専修学校（専門課程）のことをいいます。

02 資格取得（国家資格など）のための充実したサポート体制!

就職するために必要な資格、有利な資格を取得します。

専門学校では、就職に不可欠な資格、また仕事をする上で役立つ資格取得のために
集中して授業を行うことも最大の特徴です。

KBC学園グループで目指せる資格・検定【例】

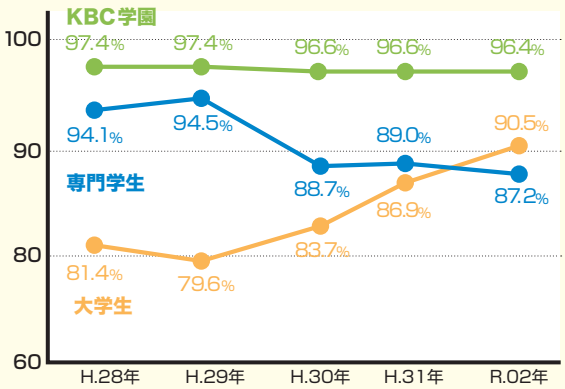
公務員・事務 分野	税理士科目試験／日商簿記検定／ファイナンシャル・プランニング技能士　など
IT・ICTゲームクリエイター分野	情報セキュリティマネジメント試験／ネットワークスペシャリスト試験／基本情報技術者試験　など
動物 分野	トリマー／動物看護師／愛玩動物飼養管理士　など
美容 分野	美容師国家資格／認定エステティシャン試験／ネイル検定　など
デザイン・建築・ファッション分野	Illustratorクリエイター能力認定試験・２級建築士・木造建築士・色彩士検定　など
ホテル・ブライダル 分野	レストランサービス技能検定／アシスタントブライダルコーディネート技能検定／サービス接遇検定　など
旅行・貿易・エアライン 分野	IATAディプロマ基礎／旅行業務取扱管理者／通関士試験／TOEIC／マナー・プロトコール　など

03 専門学校は"就職"へ導くプロフェッショナルです！

専門学校の最大の特徴である安定的な「就職実績」

専門学校の就職実績は景気の変動に左右されにくく大学や短大に比べるととても安定的。
卒業までに企業が求める職業能力をしっかり身につけるという教育は卒業がゴールではなく、
就職を実現し、そこからをスタートと考えています。
特に専門学校は、時代や社会のニーズを敏感にキャッチし、企業との連携や地域に
根ざした実践的な職業教育を行っており、今後も専門学校は産業界と連携を図り、幅広い
年齢層、経験、価値観を持つ人たちが成長できる教育体制を整えていくことでしょう。

新規学卒者就職内定率の推移（%）



※出典：沖縄労働局「新規学卒者の就職内定状況」より